

- 調査期日 平成25年10月2日
- 調査地 大分県由布市
- 調査事項 観光行政について

## 「観光行政」を、

## 由布市に学ぶ

### 産業建設観光常任委員会

平成25年10月2日から3日まで、大分県由布市において「観光行政について」の所管事務調査を行ってまいりました。

10月2日午後、湯布院庁舎において商工観光課の平井部長をはじめ関係者により、観光行政等についての説明を受けてまいりました。

由布市は、大分県のほぼ中央地域に位置し、北は宇佐市や別府市、南は竹田市、東は、大分市、西は玖珠郡に接しています。平成の大合併が進む中、平成17年10月1日、挾間町と庄内町、湯布院町が合併し、面積は約319・16km<sup>2</sup>、人口3万5787人の市となりました。由布市の気候は、標高の

高い由布院盆地と北部とに2分され、冬には、最低気温が氷点下になることも多く積雪にも見舞われるとのことでした。農林業は、米を中心に野菜、花き、果実の栽培や畜産が盛んですが、農家数、農家人口とも減少しているとのこと。工業については、企業誘致の効果もあり、製造品出荷額は増加傾向にあるとのことでした。

商業については、社会環境の変化や大規模店の進出などにより商店数は減少傾向にあります。新規店舗の創業や進出があるなど、新たな商業拠点地域が形成されておりました。

観光業については、温泉や豊かな自然などに恵まれ

ており、特に湯布院地域は保養温泉他として多くの観光客が訪れているとのこと。商工業の発展が著しい挾間地区、豊かな自然と農業の庄内地区、観光と温泉の湯布院地区などがあり、これら3つの輝く個性が1つとなり、快適で住み良い町を目指して歩んでおりました。

私達、那須町の産業建設観光常任委員会は、今回の所管事務調査を生かし、一丸となって情報を共有し、那須町の発展のため、より一層頑張ることをお約束致します。報告とさせていただきます。

平山委員長あいさつ



説明を受ける各委員

